いいじまち 議会だより

2022年4月15日
第98号
発行：長野県飯島町議会

町民アンケート p2.3

新年度予算を徹底解剖

写真／議会広報委員会
3月12日　御射山神社御柱七久保地区山出し祭
役員と協力団体だけで模擬曳行

議会HPはこちらから
YouTubeでも配信中

令和４年度予算徹底解剖

行政に町民の意見を反映するため、令和４年度の予算に対する意見についてアンケートを実施しました。ご協力頂きありがとうございました。

今回のアンケートで多くの人は、人口減少が町の課題と捉え、その手法として住宅補助・子育て支援・環境整備などが有効と注目しているようです。これらの意見を大切にしてまいります。

飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助 3,000万円

町の人口増に繋がる若者世帯の住宅を促進する補助金ですね。

中平　下平 和宏 さん

若者世帯の支援でＵターンＩターンを促し、人口増につなげ、子育て支援にもなる。

匿名希望

定住促進事業

「飯島でマイホーム・飯島で子育て」のように、若者が町に根付き生活してくれるとよい。借金の残らない補助や支援を。

豊岡　松村 美雪 さん

人口増プロジェクト

人口を増やさないことには、町の活性化はない。町に住みたいが、良い物件がないと聞く。子どもの声が聞こえて暮らせる楽しい町に。

南仲町　宮澤 紀子 さん

新型コロナウイルス感染症対策事業 8,169万円

ウィズコロナ・アフターコロナ対策がない。弱者・生活困窮者・飲食業者の生活再建が急務。

赤坂グリーンヒル　山下 隆也 さん

鳥居原横断線測量調査事業 1,600万円

若者・子育て世帯重点地域としての住宅対策に欠かせない。早期着工を。

北河原　唐沢 隆 さん

商業施設用地造成等整備事業 499万円

法人税増収や若い世代の人口増に期待。
スマートICとの接続や優遇のＰＲを。

豊岡　上山 昌平 さん

千人塚公園城ケ池周辺環境整備工事 1,550万円

長年の懸案事項。公園屋外放送設備や周辺整備で、安全に楽しめる公園として誘客増が期待できる。

柏木　竹澤 秀幸 さん

保育園給食費完全無償化 22万円

子育て支援は、本件の22万円と水道補助の120万円のみ。この町で子育てするメリットはなく、人口減を象徴する予算案だ。

匿名希望

都市計画費（都市計画内部検討会立ち上げ） 0予算

リニア開通・コロナ禍・大災害予想などで、大企業の地方分散が進む。時が来てからでなく、よい受け皿を有識者も交え作り上げておくべき。

荒田　吉川 総子 さん

令和4年度予算
徹底解剖

議員注目事業これいち！

浜田 稔 議員

木質バイオマスエネルギー供給事業導入計画策定業務（地域創造課） 1,100万円

数億円規模では収益に懸念。楽観値・悲観値と事業責任の明示を。

久保島 巌 議員

企業誘致費商業施設用地造成等整備事業（産業振興課） 499万円

地元滞留率の向上につながり、住宅建設が促進されるか注目。

片桐 剛 議員

人口増プロジェクト飯島でマイホーム（地域創造課） 4,000万円

新たな施策、期待大の反面、自治会加入問題・ゴミ問題など地域住民とつなぐ対策が重要。

吉川 順平 議員

飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金事業（地域創造課） 3,000万円

若い女性の働き場所がなく、定住し出産し人口増になるか、注目。抜本対策が必要。

坂本 紀子 議員

移動図書館車更新（教育委員会） 2,109万円

31年大事に使ってきた図書館車が、長い間更新を要求してきてやっと実現した。

星野 晃伸 議員

屋外運動場管理費田切野球場防球フェンス新設工事（教育委員会） 1,599万円

町民スポーツのあり方も高齢化・人口減も予想され各運動施設の整理と総合運動施設を考える時期だ。

三浦 寿美子 議員

高齢者補聴器購入費助成事業（健康福祉課） 10万円

購入補助を求めてきたものが実現した。多くの人に利用してもらいたい。

堀内 学 議員

消防団詰所駐車場用地不動産鑑定及び分筆業務（総務課） 56万円

分団・区から度重なる要望があったが、一般質問を機に動き始めた。待遇改善や、よい活動ができるように注視。

坂井 活広 議員

飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金事業（地域創造課） 3,000万円

「最大200万円」と上下伊那No.1の補助金。

伊藤 秀明 議員

重層的支援体制整備移行準備作業（健康福祉課） 491万円

高齢者問題は多岐にわたり、待ったなし。住民の利用しやすい仕組みを期待する。

宮脇 寛行 議員

飯島流ワーケーション事業（地域創造課） 660万円

ワーケーション事業への参加者による町の魅力や弱点を洗い出し、これらを推進協議会が連携して磨かれる改善を期待する。

折山 誠 議員

飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト（住民税務課・地域創造課） 3,480万円

コロナ禍を見据えた活力あるまちづくりの着実な推進を期待。

総務産業分科会

町営住宅のニーズにあった改善が必要

令和４年度
飯島町一般会計予算

主な質疑

総務課

問　循環バスの新規運行計画の検討は、誰が行うか。廃止もあるのか。利用者目線での計画を求めるが。

答　健康福祉課・社協・教育委員会・タクシー会社などで検討。廃止は今のところ考えていない。

問　消防団詰所の発電機の盗難が多発した。今後の対策に、防犯カメラやGPS管理を求めるが。

答　被害が大きいので、統一的に鍵ボックスの設置を検討していきたい。

問　役場の職員が不足しているにもかかわらず、職員が国県などに派遣されている。費用と効果は。管理責任は。

答　上伊那・伊南は、負担金の中で人的交流を行っている。

国県は町が負担。総務課が監督しており、効果があると考える。

産業振興課

問　道の駅田切の里食品加工室改修工事の内容と町の負担は。

答　お菓子の加工販売及び地元農産物を活用したプリン・ゼリーの予定。建物は町所有であり、利用料で回収していく。

改装予定の田切の里

問　企業誘致費の造成場所と業種は。町内業者と競合の懸念は。

答　場所や事業者は決まっていない。誘致希望は食料品関係。

問　崩落の危険がある飯島区新井用水の改良工事の完了予定は。埋設されている水道管の影響は。

答　県営事業は、通常５～10年の期間で実施される。令和5年着手で進んでいる。

企画政策課

問　上伊那広域の負担金が増えている要因は。町はごみの排出量が少ないため、負担割合に不公平感があるが。

答　ゴミ処理設備の企業債償還や情報センター費が増えている。負担割合は進言していきたい。

問　こども議会の実施履歴と令和4年度計画は。子どもたちの討議など工夫の必要があるが。

答　平成８年の10月に１回目を実施。３～５年おきに記念事業と共に実施。今度９回目になる。今年は11月ごろ予定。内容は検討する。

建設水道課

問　鳥居原横断線測量計画は。園児の安全対策を求めるが。

答　幅員５ｍ・片側歩道・センターラインなしで、歩道境は縁石となる。水路に蓋をつけるなど安全対策は行う。

改修される鳥居原横断線

問　豊岡住宅と舟久保住宅の取り壊し計画があるが、居住者の移れる住宅はあるのか。
答　北梅戸住宅か陣馬住宅を紹介していくことになる。
問　北梅戸住宅は、ニーズに合っていない。公営住宅は低所得者の最後の砦であることを踏まえて運営することが大事であるが。
答　トイレ・風呂持ち込み・2階建てなどニーズにあっていない。今後検討する。

地域創造課

問　営業部インターネット販売に係る委託料の内容、赤字が続いており課題がある。舵取りを早急に行う必要がある。いつ結論を出すのか。
答　早い段階で結論を出したい。事業者が独自に展開を始めたところもあり、一律した方向付けが難しい。当初の考え方に立ち返る必要がある。いつまでも行政が行うべきではない。

問　「iiネイチャー春日平」トレーラーハウスの使用料と町民体験料金は。
答　通常営業は１棟2泊3日で22,000～25,000円を予定。町民体験は1泊1人1,500円（大人）・高校生以下無料で、3/26から毎週土日に４月末日まで実施。

トレーラーハウス内部

問　定住促進事業の「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」・「マイホーム取得奨励金」は４月前着工では対象外か。
答　取得補助金は4月1日以降に着工したもの。建築・購入・検査日・建築確認検査日・登記の日で確認していく。

改善改修が望まれる北梅戸町営住宅

令和４年度 飯島町水道事業会計予算

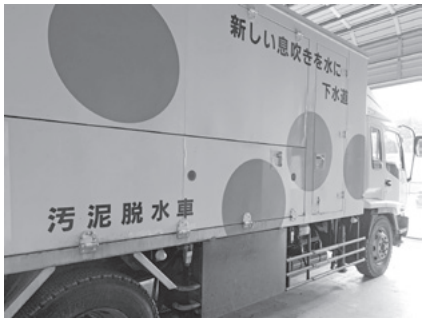
主な質疑

問　中川村一部への給水実施によるメリットがわかるように収支を分けるべきだが。
答　事業会計決算上では難しい。別途に分けるしかないが、検討し、わかるようにしていきたい。

令和４年度 飯島町下水道事業会計予算

主な質疑

問　移動脱水車修繕に関して、新車購入に関する中川村との協議進捗は。
答　購入予定金額は、１億2,000～3,000万円になる。助成金などを視野に検討。



老朽化が進む移動脱水車

問　浄化センターの電力負担が大きい。太陽光を利用する考えはないのか。
答　飯島浄化センターに２基目計画用の土地があり活用できる。できるだけ電力が安くなる方法を検討する。

コロナ禍で町税減収の心配はないか

令和４年度 飯島町一般会計予算

住民税務課

問　町税のスマホ決済はいつからか。
答　令和３年１月から一部サービス可能。全て対応は令和５年度から。請求書にＱＲコードが印刷され、全国どこでも決済ができる。

問　町税の収納率は。滞納整理機構に何人依頼しているか。
答　収納率は良い。現在５人依頼。完納した人もいる。

問　町税が前年度と比べ7,000万円増額だがコロナ禍で減収の心配はないか。
答　令和３年度予算を立てる際、令和２年度コロナの影響を加味し、個人住民税を15％減と想定したが、さほど収入の落ち込みはなかった。
　法人税も企業収益の増加により増。固定資産税は、減免特例措置終了で増。

問　コロナによる減収は飲食店以外の事業者に影響はないか。
答　産業振興課での支援策により、税収に影響はない。

問　県内で人口の社会増は南箕輪村と飯島町のみ。実感はあるか。
答　派遣社員の異動が多く、実感はない。

問　ゴミ処理委託料の増額の要因は。ゴミの増加によるものか。
答　収集運搬車の燃料代増によるもの。ゴミの増加ではない。

健康福祉課

問　障がい福祉サービス給付費は増えているか、また人数も増えているか。
答　全体に増。精神疾患の人と支える家族の高齢化により、サービス利用者が増えている。

問　引きこもりサポーターの実績と効果は。
答　引きこもりは平成30年の民生委員調査で47人。サポーター研修への参加者も増え25人。全員がマッチングするわけではない。サポーター研修も令和２年は７回。令和３年はオンラインで実施している。

問　いいじまお助隊と重層的支援体制整備移行準備事業のすみわけは。
答　移行期間であるため、重なることが多い。

問　石楠花苑の修繕費がかかるが、中央クリニックの負担はあるのか。
答　社協と協議していく。

問　タクシー券の利用改善を求めるが。
答　令和４年度は変更ない。現在、公共交通機関といいちゃんバスの在り方を研究している。高齢者でお困りの人は高齢者福祉係に相談してほしい。

問　特別養護老人ホームの待機者は何人か。
答　現在20人位。

問　開業医支援事業の実績は。
答　８年間で開業支援は、のどかクリニック・飯島中央クリニック。設備支援は恵幸堂歯科・のどかクリニック。

問　子育て支援アプリの普及は。
答　200人近く登録し、好評である。

問　子供のゲーム依存対策は。
答　自殺対策事業の一環として行っている。講師をリモートでお願いしている。

教育委員会

問　青年問題協議会とは。
答　町内の青少年問題を考える協議会。会員は町長などで、オブザーバーに臨床心理士・医師を含む。

問　ファミリーサポート事業とは。
答　託児をしている。協力会員を養成する講座を開催。

問　飯島保育園駐車場の拡張先は。
答　飯島保育園駐車場西側。

問　学童クラブの入退室管理システムの活用は出来ているか。
答　正確な管理ができ、安全管

理にも役立ち、保護者も安心している。

問　教職員ストレスチェックの状況は。
答　健康状態は良好。高ストレス者はいるがケアしている。

問　ICT支援員派遣業務は。
答　長野システム開発で講師実績があり。令和3年12月から各校週１回実施。

問　中間教室の活用と不登校児童の状況は。
答　飯島体育館の一室を整理し、使いやすくなる予定。親と一緒に相談を受け、学校に行けるようにうながす。
　高校生の不登校は、高校を訪問して把握している。

問　中学の部活で、土日の指導者はいるか。
答　今後社会体育に移行する。地域と連携し、登録すれば先生も指導できる。

問　新給食センターの地産地消の考えは。
答　米は100％使用。野菜・果樹は難しい。コーディネーターが必要。

問　新給食センターには正規職員をおき、責任ある体制にしてほしいが。
答　学校給食係として常駐する。

問　町内グラウンド削減の考えは。
答　利用率は飯島グラウンド・柏木グラウンドが高い。田切・本郷・柏木は昼のみの使用にし、

更新の飯島グラウンド照明

飯島グラウンドのみ照明設備の更新をする。

問　文化館LEDは、全て変えるのか。
答　全て変える。リースで、令和４年度は９ヶ月で400万円ほど。

問　公民館主事は２人必要か。
答　社会主事・体育主事で、分担でないと仕事がきつい。今後、公民館活動の見直しを検討。

問　千人塚海洋センターの活用はできるのか。
答　マスコミなどで取り上げられてきた。指導者がＳＵＰのみでカヌーはいない。カヌーの指導資格取得の支援を行っているが、コロナ禍で取得できていない。

令和４年度
国民健康保険特別会計予算

主な質疑

健康福祉課

問　国保の給付費は他市町村と比べてどうか。
答　国民健康保険一人当たり医療費は県下47位で、低い方である。
問　保険料を県に統一することは疑問だ。町は高齢化が進んでいる中で職員の努力で、医療費を下げている。県統一になって保険料が上がる事の無いように考えてほしい。
答　県ワーキンググループで町の主張はしている。

令和４年度
後期高齢者医療会計予算

主な質疑

問　10月から２割負担となる対象者への経過措置は。
答　上限10,000円。経過措置として８割を町が負担し、２割を県連合で負担している。

令和４年度
飯島町介護保険特別会計予算

主な質疑

問　介護度区分ごとの割合状況と今後の見通しは。
答　人口・高齢化率にて、見える化システムを利用している。地域包括ケアシステムの体制で進める。介護予防教室・生活支援・地域づくりで地域共生社会へ進める。

問　地域包括支援センターの利用度や内部の人員不足はないか。
答　利用者は増加傾向。相談が複雑化し、複合的支援が求められている。体制を整えたい。

総務産業委員会

請願・陳情審査報告

新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対応を求める

参考人：JA上伊那飯島支所長：吉川 英樹 氏

趣旨採択　陳情書が出された11月とは状況が変わっている。他の作物も含めた包括的な陳情が必要。飯島町として独自の意見書提出が良い。

採決結果　**趣旨採択に賛成　賛成5人　不賛成0人**

最低制限価格の維持を求める

参考人：建築士事務所協会上伊那支部長：宮下 治 氏

賛成意見　建築も地域の大切な文化であるため議会として応援をしたい。

採決結果　**賛成5人　不賛成0人**

国土交通省告示第98号、価格積算方法の適正化を求める

参考人：建築士事務所協会上伊那支部長：宮下 治 氏

採決結果　**賛成5人　不賛成0人**

耐震診断・耐震改修について国の価格基準に準拠した契約を求める

参考人：建築士事務所協会上伊那支部長：宮下 治 氏

採決結果　**賛成5人　不賛成0人**

森友改ざん問題、国会で真相究明するよう求める

参考人：伊那市　矢澤 親男（ちかお） 氏

反対意見　すでに方向性は決まっており、今更新たな事実は出てこない。司法でも結論が出ている。

賛成意見　国の公文書に対する体制は変わっていない。1億700万円の不適切な終わり方である。

採決結果　**賛成2人　不賛成3人**

社会文教委員会

美味しい給食を期待

3月10日に完成した新給食センターと体育館・災害トイレを視察しました。

飯島町新給食センター

新しい給食センター

最新の設備で衛生面も徹底され、働きやすい環境で、生徒に美味しい給食が提供されることを期待する。

飯島町体育館改修

床の張替え・ドアの入れ替えにより、以前より明るくなり、トイレも改修された。

体育館屋外トイレ新設

町民グラウンド・小中学校校庭からも近く、災害時にも対応できる。

本郷グラウンド・バイオマストイレ新設

そばがらを便槽に使用。太陽光電力で駆動し、排泄物を分解することができる。

「儲かる飯島町事業」の抜本的見直しを

本会議から付託された令和４年度予算６議案を総務産業分科会主査・社会文教分科会主査からの報告を受け、質疑を行った。
総括質疑の後、討論採決を行い、全議案採択すべきものとした。

総務産業分科会主査報告に対する質疑

問　「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」の建設場所はどこか。
答　申請があった住民に対して補助を行うため、場所は決まっていないときいている。

問　町の所有する車両は多い。電気自動車に変更するなど町の計画はあるのか。
答　今回は、ドライブレコーダーの設置１台分のみである。電気自動車導入の話はなかった。

問　豊岡住宅と舟久保住宅の除却工事に伴い、北梅戸住宅へ移住してもらうが、利便性は。
答　住む人のニーズに合っていないことを指摘した。町として町営住宅の入居数の将来は、55～60戸に減らす予定とのこと。

問　インターネット販売事業の赤字はどの程度販売すると解消できるのか。今後の予定は。
答　現在の売上の２倍販売しないと赤字を解消できない。要因は、運営管理業務を委託しているため。インターネット販売はどこかで打ち切るとのこと。

社会文教分科会主査報告に対する質疑

問　町税の収入が昨年度予算よりも7,000万円多い。原因は。
答　昨年度は、コロナの影響により減少すると見込んで減額していた。影響がなかったため増額とした。加えて、固定資産税のコロナ減税が終了したことから増額を見込んでいるとのこと。

問　開業医の支援事業の具体的対象者はいるのか。
答　探しているところ。会計事務所へ町がデータを提供し、探した事例があると聞いている。

問　ごみ委託料の増額原因は。
答　燃料費の高騰によるものと聞いている。

問　いいちゃん健康ポイントの効果はあったのか。
答　健康診断や健康教室によりポイントを付与しており、有効に使われているとのこと。

問　消費者生活支援で18歳への対応は。
答　広報していく。消費生活センターが駒ヶ根にできることもＰＲしていくとのこと。

問　教員住宅を除却する予定があるのか。
答　おためし住宅などによる再利用をしている。耐震化されていない所は除却するとのこと。

老朽化した教員住宅

理事者に対する総括質疑

問　財政調整基金は、10億円を維持するのか。
副町長　昔は、財政規模の３割という規定があったが、目安として10億円を積み立てる。必要な事業に取り崩していく。

予算特別委員会

問　都市計画は建設水道課、土地利用計画は企画政策課と関係するものが複数の課にまたがっている。１つの担当部署にすべきだが。
副町長　国の管轄に分けて分担している。多くはプロジェクトとして連携を取って行っている。

問　議会時に町側もタブレットなどによる電子化を推進できないか。
副町長　議場のネットワーク構築が終わり次第検討を行う。

問　こども議会を人口増加プロジェクトと関連付けて実施、総合学習として取り組むことを求めるが。
町長　議会を体験することは大切であり、町へ思うことを言う機会でもある。
教育長　総合学習の活動内容は、先生と子どもたちが決めていく。町から実施依頼はできない。

飯島町へ愛着の持てる実施を

問　保育士・給食センターなど会計年度任用職員の処遇改善を求めるが。
副町長　職員の処遇を改善した。会計年度任用職員のＩ種を新たに設置した。
　給食センターには、正規職員の配置を考えている。

問　買い物支援事業は、協力隊が卒業したため終了した。今後の支援は。
副町長　町として協力隊が途中で退任したことは反省している。今後、生活支援体制整備などの調整をしていく。

高齢者への買い物支援の早期策定を

問　住宅取得補助の要件として自治会への加入が条件。移住者の負担にならないか。
副町長　移住する人にも、一定の制約が無いと住民との関係が上手く行かないため必要である。

問　町営住宅の配置計画をする中で住民ニーズにあった計画が必要である。北梅戸住宅は、利用しづらいと聞いている。建て直しを考える必要があるが。
副町長　住宅は、県の基準により計画をする。北梅戸住宅は、今後調査し検討していく。

問　営業部やインターネット販売をどうするのか。
町長　電子商取引は増加傾向にある。販売者が販売ページを町に任せている現状は、町に責任があると考える。今後は、販売者が自立できるように研修会を行うなど次の段階に来ていると考える。

インターネット販売は赤字続き

臨時議会

▶第１回　１月24日

一般会計補正（第10号専決）
　6,589万円の増額。子育て世帯への臨時特別給付金（２回目）など。

一般会計補正（第11号）
　３億5,580万円の増額。住民税非課税世帯への給付金、米価下落による減収農家への支援金、各学校の特別教室エアコン設置設計業務など。

▶第２回　２月21日

一般会計補正（第12号）
　１億6,859万円の増額。コロナ第６波対応事業応援補助金、飯島小学校の屋根改修工事、各学校の空調設備工事、既存の給食センター解体工事など。

ウクライナへの侵略に抗議

３月定例会は、３月４日から18日までの15日間開催。人事４件・条例７件・補正予算５件・予算６件（特集ページにて徹底解説）・その他３件が審議され全会一致で同意・可決した。また、陳情５件が審議され意見が分かれた。発議２件が追加上程され全会一致で可決した。

人 事

飯島町教育長の任命

澤井教育長の退任により新しく片桐健(たけし)氏を任命。

全会一致で同意

人権擁護委員候補者の推薦2件

委員の候補者として倉澤信二氏・伊藤洋子氏を推薦。

全会一致で同意

飯島町固定資産評価審査委員会の委員選任

内山喜夫(よしお)氏を委員に選任。

全会一致で同意

条例改正

飯島町特別職の給与の一部改正

消防団員の処遇改善を図るため年報酬を増額改正。

団員報酬

11,900円⇒36,500円に増額

全会一致で可決

国保条例の改正

世帯内の６歳未満に係る均等割額の減額改正。

全会一致で可決

飯島町公園条例の改正

指定管理者による利用料金の変更が可能に。

全会一致で可決

町営住宅条例の改正

町営住宅の入居時審査を実施。

全会一致で可決

水道条例の改正

日曽利簡易水道を飯島町上水道に統合するための改正

全会一致で可決

消防団員の公務災害条例の改正

公務災害補償を担保する改正

全会一致で可決

給食センター設置条例の改正

給食センターの移転に伴う改正

全会一致で可決

補正予算

一般会計（第13号）

238万円の増額。PCB廃棄物の処分代など。

全会一致で可決

国保会計（第４号）

178万円の増額。歳入増に伴う予備費増額など。

全会一致で可決

後期高齢者医療（第３号）

３万円の減額。繰入金減額など。

全会一致で可決

介護保険（第３号）

63万円の増額。包括支援センター運営費増額など。

全会一致で可決

水道事業会計（第３号）

90万円の増額。中川村への緊急分水による増収など。

全会一致で可決

その他

指定管理者の指定２件

障がい者地域活動支援センター(やすらぎ)及び介護予防等拠点施設(コスモス園)の管理者指定。

全会一致で可決

町道線の変更

11路線の変更。

全会一致で可決

陳情審査

郵送の１件は文書配布、５件を総務産業委員会に付託、最終日に委員会報告の後、討論採決。

米の需給悪化の改善と米価下落などの対策を求める。

趣旨採択　全会一致

建築士に係る最低制限価格の設定・国の新基準を採用・耐震診断や改修の見直しを求める。

採択　全会一致

森友改ざん問題の原因究明

不採択　賛成４　不賛成７

発 議

ロシアのウクライナ侵略に抗議

採択　全会一致

農業の持続可能な経営へ支援を

採択　全会一致

公開します 〔3月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果　賛成：○　不賛成：× ○…賛成多数で原案を可決・認定・採択 ×…賛成少数で原案を否決・不認定・不採択 △…原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択	結果	浜田稔	久保島巖	片桐剛	吉川順平	坂本紀子	星野晃伸	三浦寿美子	堀内学	坂井活広	伊藤秀明	宮脇寛行	折山誠	参照ページ
人事案件													注	
飯島町教育長の任命	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
人権擁護委員候補者の推薦２名	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
固定資産評価委員会委員の選任	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
条例の一部改正														
特別職の職員等の給与に関する条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
国民健康保険税条例	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
公園条例および都市公園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
町営住宅管理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
町営水道条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
消防団員等公務災害補償条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
学校給食センター設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和3年度　補正予算														
令和３年度一般会計（第13号）238万円	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和３年度国民健康保険特別会計（第４号）178万円	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和３年度後期高齢者医療特別会計（第３号）▲３万円	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和３年度介護保険特別会計（第３号）63万円	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和３年度水道事業会計（第３号）90万円	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
令和4年度　当初予算														
一般会計　51億9900万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	4~10
国民健康保険特別会計　９億5446万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	7
後期高齢者医療特別会計　１億5642万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	7
介護保険特別会計　11億2873万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	7
水道事業会計（支出合計）　４億4013万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	5
下水道事業会計（支出合計）　９億37万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	5
契約の締結など														
町障がい者地域活動センター（やすらぎ）の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
町介護予防等拠点施設（コスモス園）の指定管理者	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
町道路線変更	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	－	11
請願・陳情														
コロナ禍での米価下落と資材高騰への対応を求める	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	－	8,11
建築設計費最低制限価格に関する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	8,11
国交省告示98号履行に関する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	8,11
耐震診断・耐震改修に関する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	8,11
森友改ざん問題、国会で真相究明を	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	－	8,11
意見書														
農業の持続可能な経営のための支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11

（注）議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

議員全員協議会

1月21日　協議事項

住税非課税世帯への給付金

コロナ禍での生活・暮らしの支援のため、住民税非課税世帯等に対して、１世帯当たり10万円の現金給付を行う。

問　家計急変の基準は。

答　国からの基準によるもの。

2月16日　協議事項

消防団員年報酬の改定

消防団員の適切な処遇の在り方の検討を重ね、1月31日の審議会にて答申を得た。

問　分団・部への手当はあるか。

答　運営経費は予算化してある。

第６波事業継続応援補助金

コロナ６波・蔓延防止措置による影響を受けた事業者への補助金。

問　交付対象の確認を。

答　小規模店でも登録できる。

人口増対策（定住促進）

「マイホーム取得補助金」：町内定住のため宅地や住宅を取得の場合最大200万円の補助。

「マイホーム取得奨励金」：町内に住宅を取得する若者・子育て世帯向け、固定資産税相当額を10年間交付。

「民間宅地開発補助金」：宅地分譲を行う事業者に対し造成費の一部補助（上限：200万円）

問　国県の補助は。

答　該当なし。町単独事業。

問　２年以内転出の場合は。

答　５年未満で事情なき転出の場合は相当額を返納。

3月18日　協議事項

消防団詰所、発電機盗難被害

３月１日～２日に発生した発電機盗難、町内詰所４か所で８台、被害総額はおよそ100万円。今後施錠の徹底と警戒の継続を行う。

問　他市町村でも被害はあったか。

答　松川町をはじめ近隣でも被害はあった。

問　他市町村の被害発生時に情報共有はできなかったのか。予防措置は取れなかったのか。

答　情報共有はしていた。施錠等の管理は各分団に任せてある。

押印等の見直しの取組み

町民や事業者の利便性向上と行政事務の簡素化を図るため。提出書類の押印・署名見直しを行い、823書類のうち746書類（90.6％）の押印・署名について廃止することとした。

第３次食育推進計画

「飯島町の食で育む豊かなこころと健康なからだ」を基本理念に令和４年度から令和８年度の期間で実施。健全な食を土台にして、自然豊かな飯島町の農業にふれ、みなが生涯を通して健康で活力に満ちたくらしの実現を目指し行う。

問　子どもだけではなく、保護者への啓発も重要である。どのように考えているか。

答　認識している。呼びかけていきたい。

ワクチン接種について

３月13日における接種者の割合は以下の通り。

全年齢		
１回目	２回目	３回目
85.89%	85.27%	27.14%

対象年齢		
１回目	２回目	３回目
93.74%	93.07%	29.62%

小児接種計画

４月上旬、接種希望者へ年齢順に接種券を発送し、４月下旬に接種を開始する。

iiネイチャー春日平

令和４年４月29日運用開始。事前に週末限定で町民向けにプレ宿泊を開始する。トレーラーハウス４棟、１棟あたり４名まで。大人１名：1,500円、高校生以下は無料。

子ども読書活動推進計画

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、教育委員会が策定。「第4次長野県子ども読書推進計画」を基本とし、飯島町における子どもの読書活動推進の状況等から、課題を踏まえ、令和4年度から概ね５年間を推進計画として策定する。

保育士等処遇改善

保育事業に係る会計年度任用職員を対象に、令和４年2月から基本給3％分の手当を増額する。

一　般　質　問

町政を問う

11議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

吉川順平　ワクチン交互接種　効果と考え方は　P14
久保島　巖　アグリイノベーション2030　構想見直しを　P15
片桐　剛　withコロナ　町独自の施策を　P15
宮脇寛行　飯島流ワーケーション　町の魅力とはなにか　P16
星野晃伸　柏木グラウンド　国体後の活用は　P16
伊藤秀明　百間ナギ崩落防止　関係機関に働きかけを　P17
堀内　学　消防団員確保　元吹奏楽部員を喇叭(らっぱ)隊に　P17
三浦寿美子　国保の均等割　18歳まで免除を　P18
坂本紀子　ゴミ個別回収　町でも実施を　P18
浜田　稔　防災対応　区より自治会中心に　P19
坂井活広　木質バイオマスエネルギー　温浴施設を　P19

◀◀◀　詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。

ワクチン交互接種

効果と考え方は

その時に打てる接種を　町長

問　ワクチン３回目接種が始まっている。モデルナとファイザーがあり、交互接種に不安があるようだ。効果と考え方は。

町長　安全性に大きな差はない。準備できたものから接種を始める。選択はできない。

「関連する質問」

①2回目からの接種間隔
②ワクチン供給量
③感染者の世代別実態
④保育園・学校での感染症対策
⑤5～11歳の接種
⑥幼い子供持つ夫婦が感染した場合の対策と支援

アグリベーション2030

問　発電排熱の施設栽培利用で、若者参入が期待される。いつ始まるか。

町長　国の調査費で、電力や熱供給のマスタープランを策定する。10年先を見据えた計画であり、環境整備しながら投資・事業は着実に進める。

新カントリーエレベーター

問　伊南地域の米が集約される。周辺に新たな6次産業化加工施設(おむすび・米粉パン)・大型直売施設・バイオマス発電施設を提案するが。

町長　ＪＡと共に相談しながら実現したい。地域の若者も興味が持てる大きな経済の発展の礎となると期待している。

新カントリーエレベーター予定地

アグリイノベーション2030
構想見直しを
メガ発電白紙化で縮小 町長

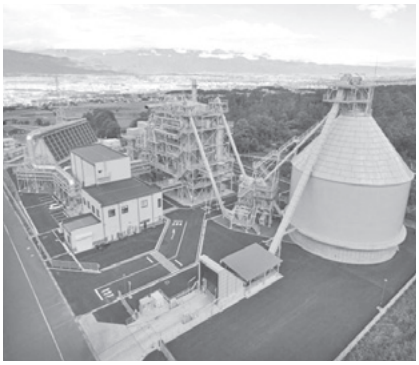
問　環境循環ライフ構想の中から影が薄くなった。計画変更なら、見直しが必要では。
町長　塩尻の巨大バイオマス発電施設の影響で、認可が見通せず、メガ発電計画は白紙になった。小型バイオマス発電を分散配置し、排熱利用は、それに付属する考えだ。

問　マイホーム補助金などは、シニア世代も使えるよう拡大すべきでは。
企画政策課長　若者子育て世代の補助と考えている。国の生産年齢を参考に49歳以下に設定。

問　保育園給食費無償化は主食や3歳未満児にも拡大を。
教育長　国基準で主食の提供ができない。未満児は保育料の中で主食の提供をしている。

問　商業施設用地造成費用が予算化された。具体的計画は。
町長　若者移住を掲げても、買い物環境が不足している。進出企業があれば、町が用地造成の支援をするが、まだ確定したものはない。

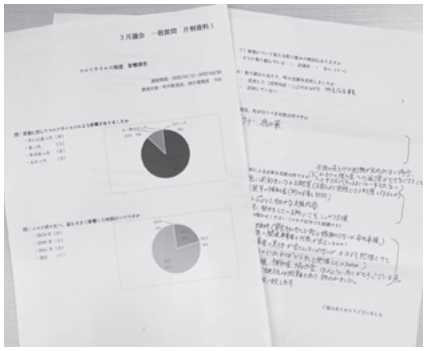
問　住宅取得で「飯島町に光をそそぐ…」は適切ではない。「町の為に家を建ててくれ」と言っているようだ。行政目線であり、変更を求める。
町長　職員が頑張って考えたので、尊重したい。


塩尻の巨大バイオマス発電施設
（ソヤノウッドパワー発電所）HPより

３月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

withコロナ
町独自の施策を
提案を前向きに検討する 町長

問　町内飲食関連事業者を中心に個人的にアンケートを行い、今が一番大変である実態が分かった。町事業者への影響調査はしたか、具体的な数字提示を。
産業振興課長　商工会や町内金融機関に対してヒアリングを行っている。売上げの統計データはない。


事業者へコロナ影響アンケートを実施
（第6波の影響が大きいと実情が浮き彫りになった）

問　コロナ禍はしばらく続くと考えられる。子ども達が体を動かす場所もない。公園等指定管理者の意向も汲み柔軟な施設利用を打ち出すときと考える。町独自の判断で施設開放を求めるが。
総務課長　町の対策本部では、感染警戒レベル５で施設の利用制限をしている。屋内外についてはそのときの状況によって本部会でも検討し実施していく。

問　町の現状と今後を考え、町独自の施策を提案するが。
①補助枠から漏れた事業者の経済的支援策を
②町内飲食関連事業者一律安全策で利用者増を
③「飯島GoToEat」キャンペーン実施を
町長　良い提案、前向きに検討する。

▶その他の質問
・防災無線発信内容の検討と効果検証を

宮脇 寛行

飯島流ワーケーション
町の魅力とはなにか
欠点をつかむことが大切　町長

問　町の魅力はなにか。
町長　中央アルプスと南アルプスに挟まれた田園風景のあるところで、静かに暮らすことができることが１番の魅力。

問　町の弱点はどう対策するか。
地域創造課長　人口の減少・農業や商業の担い手不足・農村風景の保全・災害への備え・山林の荒廃などだ。
　これらの弱点を環境循環ライフ構想で克服したい。
町長　欠点をつかむことが大切で、今回のメイン事業につながっている。

問　ワーケーション事業での兼業農家支援を考えているのか。
町長　直接的に兼業農家への支援や若手後継者の確保につながることは難しいと考える。
　体験メニューの講師や農業を通じた癒しや楽しみを提供することも大きな事業効果と考える。

基幹産業の農業支援

問　農地維持や荒廃防止のため、貸借料金の見直しや一部負担の考えは。
産業振興課長　貸し手と借り手の双方が話し合いによって決めることが原則。
　市町村が決定することはできない。

移住者への経済対策

問　Uターンには就職先確保が必要で対策は。
産業振興課長　職安や上伊那広域連合と連携して支援する。

◀◀◀　詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。

星野 晃伸

柏木グラウンド
国体後の活用は
多目的な人工芝に施工　教育長

問　柏木グラウンドを、長野国体フィールドホッケーのサブ会場として受け入れたか。
教育次長　令和４年度正式に決定となる。
問　国体後の利用をどのように考えるか。

柏木グラウンド

教育次長　サブ会場なのでマルチ規格の人工芝を使用し、フットボールにも対応できる。

水道事業

問　県企業局の「越百のしずく発電所」と浄水場の関係は。
町長　企業局から水をもらえるか定かではなく、浄水場の改築も調査中であり計画は未定。
問　広域水道に加盟の考えは。
建設水道課長　宮田以北の５市町村で広域水道を運営。施設の共同利用や人的交流も含む。中川村に分水することも広域水道の一種だと考えている。

食育推進計画

問　第３次は、町として何をメインに考えているか。
健康福祉課長　３つの目標を定め、達成に向けて各部会で進めていく。
問　減塩と高血圧の因果関係はないという説がある。新しい資料を検討し、指導する考えは。
健康福祉課長　日本人の食事に合わせた塩分摂取量を基準に、県の指導のもと５年に一度改めている。

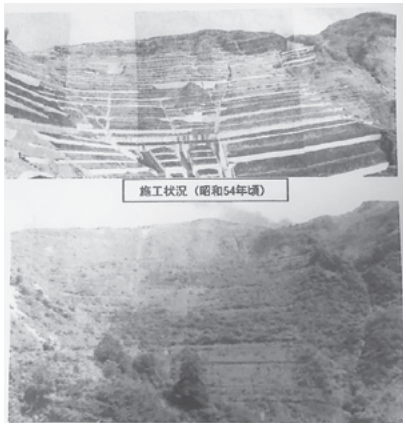
▶その他の質問
・自治会要望の道路修繕

百間ナギ崩落防止

関係機関に働きかけを

要望を続けていく 町長

問　百間ナギは大雨のたびに崩落が止まらない。「グリーン化」で対策をしている事例がある。



崩落したガケのグリーン化事例（福井県）

関係機関に崩落防止や対策など要望しているか。

町長　崩落は止まらない。今後も関係機関に引き続き治山・治水・砂防の要望を続けていく。

18歳成人

問　4月から成人年齢が20歳から18歳になる。

契約に伴う被害対策への注意喚起は考えているか。

住民税務課長　5月の消費者月間などの機会を捉えて、継続的な情報発信をしていく。

4月から広域対応となり、消費生活センターが駒ヶ根市に設置される。そこで相談対応をする旨の告知をしていきたい。

ツリーハウス

問　図書館横のツリーハウスの今後の管理は。

教育長　安全が確認できる間は活用をしていきたい。

▶その他の質問
・町営住宅廃止の考え方

3月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

消防団員確保

元吹奏楽部員を喇叭（らっぱ）隊に

きっかけとして活用する 町長

問　本定例会にて消防団員に関わる給与増額が承認された。既存の団員には良いが、団員の勧誘につながるのか。

これで女性団員募集中！

町長　消防団員の担い手不足は、全国的にも課題となっている。

町では、各分団の努力により少ない欠員で推移している。勧誘を自治会へ依頼しているほか、新たにチラシを作成し、配布を行っていく。

問　町では、機能別消防団員の活用を検討している。元吹奏楽部員を喇叭隊に勧誘することで、女性の参加を促せると考えるが。

総務課長　各分団にて喇叭隊などへの所属を決めている。今後、女性の加入があった場合には、幹部会を通して調整する。

町長　女性が消防団に関わるきっかけとして有効に活用していきたい。

学生の自転車利用

問　小学生の自転車利用時の規則があるのか。

教育次長　ヘルメット着用の規則の他に、広域農道など大きな道路での乗車を禁止している。

問　与田切公園や千人塚公園に自転車で行けないが、改正は。

教育長　保護者の意見を反映したものになっている。校長会にて規則の見直しを提案した。

▶その他の質問
・SDGsの推進を

三浦 寿美子

国保の均等割

18歳まで免除を

町単独では考えていない　町長

問　４月から、国が未就学児の均等割を５割軽減する。18歳まで均等割免除を。

町長　将来的には全県下で保険税が同水準になる。町独自での実施は考えていない。

崩落危険箇所

問　土砂災害は、普段水の無い沢筋で起きている。危険個所の確認と整備は万全か。

総務課長　ハザードマップを更新し、土砂災害特別警戒区域などを示している。

高遠原・高尾自治会は、自主避難計画を作成している。

危険箇所は産業振興課・建設水道課が現場を確認し、対応している。

問　町道本郷飯島線（本６～東部保育園）に浮き石の崩落危険個所がある。事故が起きる前に対策を。

危険な浮石

産業振興課長　緊急な箇所はすぐに対応。大規模なら補助事業を利用する。

問　豊岡地籍の産廃不法投棄は、崩落の危険がある。県に早期の撤去を求めているか。

住民税務課長　不法投棄関係者の死亡により撤去が困難な状況。引き続き県と情報共有し、撤去に向け取り組む。

不法投棄（瓦など）の現状

詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。

坂本 紀子

ゴミ個別回収

町でも実施を

重層的支援の中で考える　町長

問　ゴミ出しの個別回収を佐久市・中野市・諏訪市では、介護度３でやっている。

当町でも考えるべきだが。

町長　今は考えてない。今年度からの重層的支援の整備の中で、介護費用の兼ね合いを含み考えていきたい。

問　65歳以上の介護予防事業は、コロナ前と比べ３割減であるが大丈夫か。

社協の安否確認の電話を拡大してはどうか。

健康福祉課長　事業の代わりに委託先事業所から、電話の安否確認や介護予防啓発プリントを郵送している。

高齢者のひきこもり対応など、社協の事業とも連携していく。

問　高齢者等買い物支援事業は、２月末の地域おこし協力隊の卒業で終了となる。

良い事業なので、Aコープ飯島店に配達料の支援をし、継続を求めるが。

副町長　調査した中で本当に困っている方は、１人であり対応する。免許証がない方の支援も含め、お助隊や地域支援の中で考えたい。

活躍が待たれるパネルバン

▶その他の質問
・町の除雪範囲拡大を求める

浜田　稔

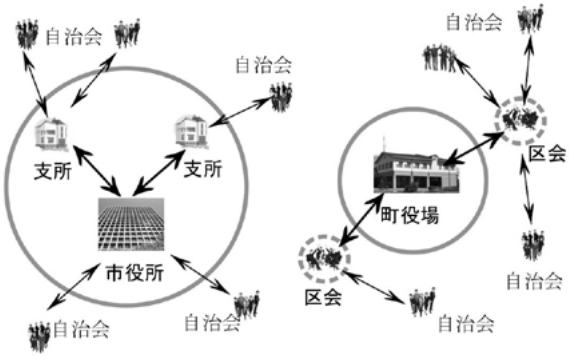
防災対応

区より自治会中心に

実践的であり検討する　町長

問　防災先進地の静岡県では、自治会が行政と直接連絡する。町と自治会の間に区を挟んだ対応は、即応性がないと思うが。

町長　防災体制の研究のなかで、自治会単位での防災の認識が高まっている。自治会が避難先を設定する場面も必要だろう。防災専門官の配置も検討しており、実践的な危機管理を検討する。



市と自治会が直結

自治組織の負担軽減

問　町は自治組織の負担軽減に取り組んできたと認識している。達成状況はどうか。

町長　平成30年に38項目を掲げた。達成率は84％。また申請書の廃止や補助金の一括振り込みなど新たな軽減策も予定している。

問　コロナ禍が続くなかで、不要な事業や行事があったことに気付いたとの声も聞く。残された課題をどう捉えているか。

地域創造課長　自治組織は暮らしやすい地域を創っていく取り組みだと思う。地域ごとの違いもあり、皆で意見を交わしながら行政も一緒に地域コミュニティーのあり方を考える段階だ。

▶その他の質問
・コロナ対策

３月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

坂井活広

木質バイオマスエネルギー

温浴施設を

町の直営は困難　町長

問　木質バイオマスと、それによる熱電併給とは何か。

地域創造課長　バイオマスとは、生物性資源のこと。木を燃やし発生するエネルギーは、熱と電気。

　熱電併給とは、その両方を利用するということだ。

問　原材料となる木材は、町内から取得するのか、町外から取得するのか。

地域創造課長　町内から取得する。森林環境の改善にもつながる。

問　資源量や実現可能性の調査はいつ行うのか。

地域創造課長　令和４年度中である。

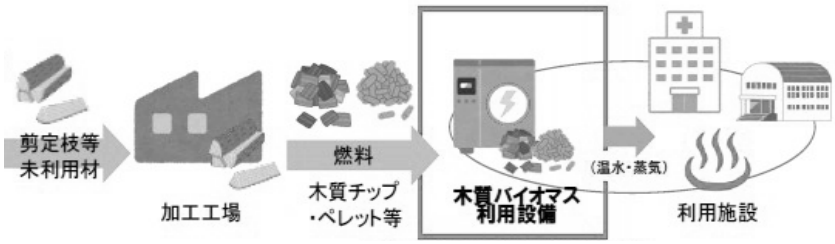
問　具体的に飯島町における熱や、電力利用をどのように想定しているのか。

地域創造課長　電気で言えば、例えば公共施設。熱で言えば、冷暖房への活用や農業用ハウス、温泉施設の加温、陸上養殖など。

問　飯島町には日中開いている温泉施設がない。源泉を掘り当てるのも困難。

　そこで、木質バイオマスの熱を利用したスーパー銭湯の誘致・開設を提案するが。

町長　コロナ禍で温泉は重荷。民間企業が現れればありがたいが、近隣市町村を見ても赤字と聞く。町の直営は困難。



バイオマス利用の流れ

上伊那広域連合議会報告

2月24日
伊那市

2月定例会で議決した新年度予算の主な内容

〇令和４年度一般会計予算

・歳入歳出28億8,600万円（前年度対比▲16％）
・主な増額予算は、行政手続きオンライン化対応など新システム導入・改修委託費２億2,600万円増など
・主な減額予算は、ごみ焼却施設解体・管理費など清掃費が12億8,700万円の減額など
・飯島町分担金合計は1億1,300万円

伊南行政組合議会報告

2月17日
駒ヶ根市

２月定例会で議決した新年度予算の主な内容

〇令和４年度一般会計予算

・歳入歳出９億7,200万円（前年度対比▲2.7％）
・主な減額予算は、火葬場費1,800万円の減額など
・飯島町分担金合計は1億500万円

〇令和４年度病院事業会計予算

・収益的収支
収入72億4,200万円（前年度対比200万円増）
支出72億7,600万円（前年度対比▲3,800万円）
収支3,400万円の赤字予算。
・資本的収支
収入３億5,900万円
支出５億5,600万円
１億9,700万円の赤字予算。

令和4年度 議会予定

6月定例会（３日～15日）

・議会運営委員会 …… 5/19㈭
・開会 …… 6/3㈮
・一般質問 …… 6㈪・7㈫
・委員会 …… 8㈬～14㈫
・最終日 …… 15㈬

9月定例会（２日～15日）

・議会運営委員会 …… 8/18㈭
・開会 …… 9/2㈮
・一般質問 …… 5㈪・6㈫
・委員会 …… 7㈬～14㈬
・最終日 …… 15㈭

12月定例会（２日～14日）

・議会運営委員会 …… 11/18㈮
・開会 …… 12/2㈮
・一般質問 …… 5㈪・6㈫
・委員会 …… 7㈬～13㈫
・最終日 …… 14㈬

3月定例会（３日～17日）

・議会運営委員会 …… 2/17㈮
・開会日 …… 3/3㈮
・一般質問 …… 6㈪・7㈫
・委員会 …… 8㈬～16㈭
・最終日 …… 17㈮

任期１年を終えて

1．浜田 稔
議会が公聴活動で、町の将来像を詰める時だ。

2．久保島 巖
議員の役割を共有し、更に議会活性化へ。

3．片桐 剛
アッという間の1年。さらに住民の声を町政へ。

4．吉川 順平
町民議会認識を高める分りやすい説明が必要。

5．坂本 紀子
コロナ禍中、電話で町民の声を集めたい。

6．星野 晃伸
挑戦の1年。もっと町民の声を反映したい。

7．三浦 寿美子
住民の声を町政に反映できるよう努力する。

8．堀内 学
今後も町に興味を持った住民が増えるよう精進。

9．坂井 活広
公約は一定達成、過労死ラインを超える多忙。

10．伊藤 秀明
夢と希望のある災害の無い安心安全の街。

11．宮脇 寛行
所管課の事業は少し理解。財政の理解向上を。

12．折山 誠
下平町政の施策実現に向けた進捗の検証をする。

いいじままち

議会だよりモニターのひとこと

第97号 広報紙面に対するご意見

◆表紙
・裏表紙の町民の声と連動していて良いと思いました。
・子供の表情が良い。何才になっても“自分で植えた木だ”と思い出に残りそう。
・令和元年度～はじめた三年目の植樹、町長さんはじめ、植樹検討プロジェクトの皆さん、子供さんとの一緒での植樹はほっこりした雰囲気の表紙となり、大変良いと思います。
・シャベルを握る大人の影に子供が入ってしまい子供の参加はおまけに見えてしまう。
・「飯島流ワーケーションはじまるよ」と裏、表、表紙の千人塚の植樹祭が少しわかりにくい。

◆特集ページ
・字が細かくもう少し見やすくしてほしい。
・アンケートに協力した対象者の人数、年齢、性別の掲載がほしかったです。
・様々な立場からの意見が興味深かった。
・町民に飯島流ワーケーションの取り組みがよく伝わると思います。
・アンケートの意見をどのようにまとめ次に行動にしてゆくのか、議会としての提案や、町民へのアクションを期待します。
・行政には関心のあるメンバー構成と思います。このメンバーでこのアンケート結果、一般にはまだ理解さていないだろうと思います。
・多くの方の意見が分かってよいがどう生かされていくのか知りたいところです。

◆定例会
・インボイス制度って何でしょうか。電子帳簿保存法に関することなのかくらいしかわかりません。不慣れな言葉は解説してもらえると親切です。議会便りで知ることが多いのは良いことですが、町は事業化する前に町民説明や意見を聞いたり、アンケートしないのでしょうか。
・それぞれの委員会の質疑、討論、そして、それらの問い答えも簡潔でわかりやすく良いと思います。
・補正予算額がP8に記されているが、p4～各々に記されているとわかりやすいと思う。
・町の状況が少しわかった気がする。今後老朽化した公共インフラの長期設備計画と並行して、コンパクトシティー形成支援事業も計画してもらいたい。

◆一般質問
・今までの町の情勢に疎かった私のような人には毎回勉強になります。子育て世代の保護者の方も関心ある質問がたくさんあって興味深かった。
・P10の消防団詰所の施設の駐車場不足については５年以上前から継続して要望が出ているにも関わらず、今もって「引き続き検討」のままとは驚いています。
・一般質問では各議員さんが行政、地域、国の何に注目しているかがわかるページであり、大変注目しています。行政を動かすための質問であるわけだからその後本当に改善されたかどうかも大切と思う。1回言ってみたけれど… では価値がない。P10「その検討いつまで」、「あれどうなった」は大切だと思う。
・議会質問内容が広く伝えられる努力をしてほしい。簡略化し読みやすくすればよいというものではない。

◆実施計画・委員会報告
・給食センターや町民体育館の進行具合が知れてよかった。
・議会運営委員会とは具体的にどのようなことをやるのですか。
・飯島ルネサンスプロジェクトには、町道や橋、水道等々の補修などもはいっているのでしょうか、新しい事業と現状を改善していく事業も並行してお願いしたい。

◆モニター・町民の声
・植樹祭の由来や参加した子供の自筆がのっていてよかったです。
・町民の声は、表紙と同じ内容だったので統一感あってよかった。
・「植樹祭」に参加した子供さんの感想文もあわせ、千人塚の城ケ池を中心に昔と今、将来の様子、七久保区会のみなさんが努力している様子がわかり良いと思いました。
・先日も千人塚を訪れて、日ごとに城ケ池を中心に美しく変容してきてると感じ、とても嬉しく感じました。

◆全体の印象
・今号は表紙とP18の「町民の声を議会へ」と同内容の掲載でした。読む側にとっては興味深くまた、引き付けられることが出来て良いかと思います。
・「議会だより」は町の広報誌ではないので議会としての独立性、立法と行政の立場の違いを出した編集になると読むのが面白くなると思います。

◆特集について
・アンケートで町民の意見を吸い上げたのはすばらしいことでした。
・イベントについて飯島町の賑わい、経済循環につなげるため、町を代表する祭りになるよう、町民一人一人の思いなどを取り上げて皆で取り組む体制を整えるためにも折々活字にして盛り上げてほしい。
・お助隊と合わせて地域おこし協力隊についてワーケーショントレーラーハウスの追跡記事を。交通、消費の問題とリンクして。

◆今後へのご意見、要望
・町にはコンパクトシティの考えがあるのか、ないのか、その情報が知りたい。
・特集、毎回よい視点からのせられているのですが、ページ数が少なくごちゃごちゃしている感じになっているのでもう少しすっきり見やすくしてほしいです。
・P15の「飯島ルネサンス」「環境循環ライフ構想」プロジェクトなど構想がいっぱいで、P11 飯島流ワーケーション 地域創造課と産業振興課とでも事業に対する考え方がずいぶん違うんだなと思いました。

第98号に対するご意見や、町へのご要望は…
左のQRコードを読み込んでいただくとアンケートの画面になりますので町民の皆様の声をお聞かせください。

追跡 あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後のゆくえ

①消防団員の処遇改善（令和3年9月 一般質問）
②施設改善（令和3年12月 一般質問）

その後

①特別職の給与一部改正
（団員報酬11,900円→36,500円：3月議会にて可決）
②令和4年度に予算計上、整備を進める

町民の声を議会へ

このページは町民の皆様に取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回は、時代に沿った変革で子育てしやすい環境をテーマに令和３年度の町内３校PTA役員との懇談。

「ランドセルの色」選択自由化

委員長　小学校ランドセルの色について、令和４年度から、ブラウンが加わり、色選択が自由となりました。変化はありましたか。また、どのようにお考えですか。

PTA　昨今のジェンダーについての考え方等もあり、自由に選ぶことができるのは、非常に良い。今度３年生になる娘は「いいなー、うらやましいな」と言っていました。

飯島町はランドセルをいただくことができるので、それだけでもありがたいが、選択の自由があることで、子育て世代に向けた町のPR要素の一つにもなると思うので、今後も色の幅を増やす、形状も時代・用途に合わせて進化させていってほしいと思います。

中学校の制服について

委員長　今の制服は約40年間同じデザインで親しまれてきました。デザイン面・機能面・社会情勢の変化等で、見直しについての話も耳にするようになりましたが、どのようにお考えですか。

PTA　是非変更の検討を行ってほしいです。女の子は特に思っている子が多いです。オシャレが気になる年頃ですし、今は様々なデザインの制服があります。それらをテレビ・インターネット等で目にします。また、修学旅行等の旅行先では、他校の制服を目にする場面も多く、自分たちの制服と比べてしまうと聞きます。

変更には、校則の改正や現在の制服からの引継ぎもあるので、すぐにというわけにはいかないと思いますが、周年など節目を機会に検討することもよいと思います。

ワイシャツが大変との声も聞かれますので、一緒に検討しては。

デザインもですが、ジェンダーについての考えなどを考慮し、男女で分けるのではなく選択の自由や、組み合わせの自由なども検討時には考慮すべきだと思います。

変えたほうが良いという声はあるが、どこにどのように持っていったらよいかがわからないのが現状です。

グラウンド・体育館について

委員長　飯島町では、グラウンド・体育館等の施設を多く所有しています。昨年の大雨時にはグラウンドの土が流れ出し、地中の構造物が露出するなど経年による施設劣化が見られます。一方でこれだけの施設が各区にあり、スポーツ大会・試合等が開かれる際には重宝しているとの声もあります。施設運用についてはどのように考えますか。

PTA　定期的なメンテナンスは不

可欠だと考えます。これだけの施設があると順位付けは必要になると思いますが、子ども達の安全面にもかかわることですので、一定の予算を取っていただいてメンテナンスを希望します。部活動含め活動グループも減少してきているため、施設数の見直しも考える時期だと思います。

その他ご意見・ご要望

●危険個所整備について、特に空き家に係る通学路整備は早急に対応してほしい。

●部活動について、今後生徒数の減少がさらに見込まれる。近隣中学校と連携して部活動の運営（例：サッカーでは中川・飯島とも人数が少なくなっている。２校合わせればチームができるため、中川中生徒も飯島中に来て活動ができる体制を築く）を行ってはどうか。

●町内遊具が少ない。与田切公園も寂しくなってしまった。子育て推進を掲げているのであれば、気軽に遊べる場所を整備してほしい。

議会だより クイズ

ヒントはP2、住民の皆さんも注目されていますね！

〈問題〉令和4年度、人口増対策のひとつ「住宅取得費用の一部を支援」する事業の名称は？

飯島町に○をそそぐ
マイホーム取得補助金

正解者５名様にいいちゃん商品券進呈
（締切は5/31、発表は発送をもってかえさせていただきます）

応募要項　住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ**ハガキ・FAX・いいちゃんポスト**で、**飯島町議会事務局　議会だよりクイズ係宛**まで

発行責任者／議長 折山 誠　　**編集委員**／◎片桐・○久保島・浜田・吉川・星野・堀内
あなたの声を議会だよりに ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail：iijima-gikai@cek.ne.jp

いいじままち議会だより　第98号　発行・飯島町議会　〒399―3797 長野県上伊那郡飯島町飯島2537番地　編集・議会広報委員会　印刷・㈱宮澤印刷